

人吉市復興まちづくり計画（避難路編）

（令和 7 年 4 月）

人 吉 市

目次

第1章 人吉市復興まちづくり計画（避難路編）の位置付け

- 1 取り組みの経緯
- 2 計画策定の趣旨
- 3 計画の位置付け、見直しについて

第2章 計画の前提条件

- 1 上位・関連計画における道路の位置付け
- 2 復興まちづくり計画に基づく関連プロジェクトの状況
- 3 災害リスク（浸水想定）と避難困難者の状況
- 4 避難に関する課題と避難路の必要性

第3章 避難路整備計画

- 1 避難路整備の有効性について（避難の考え方）
- 2 避難道路区分
- 3 避難道路ネットワーク
- 4 整備路線の選定の考え方
- 5 避難路整備路線
- 6 個別路線の概要

第1章 人吉市復興まちづくり計画（避難路編）の位置付け

1 取り組みの経緯

令和2年7月豪雨の発生後、本市では令和3年3月に「人吉市復興計画」を策定し、復旧・復興に向けた市の大きな指針を示した上で、令和3年10月には「人吉市復興まちづくり計画」を策定し、被害が大きかった地域における復興まちづくりの取り組みを示しました。

【復旧・復興に向けたこれまでの取り組み】

年月	復旧・復興に向けたこれまでの取り組み
令和2年7月	豪雨災害 発生
令和3年3月	人吉市復興計画策定 ➡復旧・復興に向けた市の大きな指針
令和3年4月～	復興まちづくり計画策定に向けた地区別懇談会（重点8地区） 〔中心市街地・青井・麓老神・球磨川左岸・薩摩瀬・温泉下林・中神・大柿〕
令和3年10月	人吉市復興まちづくり計画策定 ➡被害が大きかった地域の対策をとりまとめた計画書
令和4年3月～	被災地域復興事業導入可能性調査 ➡避難路の整備方針ならびに避難路整備候補地の提案、整備優先度の検討
令和4年10月	避難路整備路線の選定 ➡提案された避難路整備候補から選定
令和5年1月～2月	避難路整備説明会（重点地区別）
令和5年3月～ 令和6年3月	各路線の測量・設計業務 開始 測量・設計 完了
令和6年5月	避難路整備計画地図及び整備路線計画概要 公表

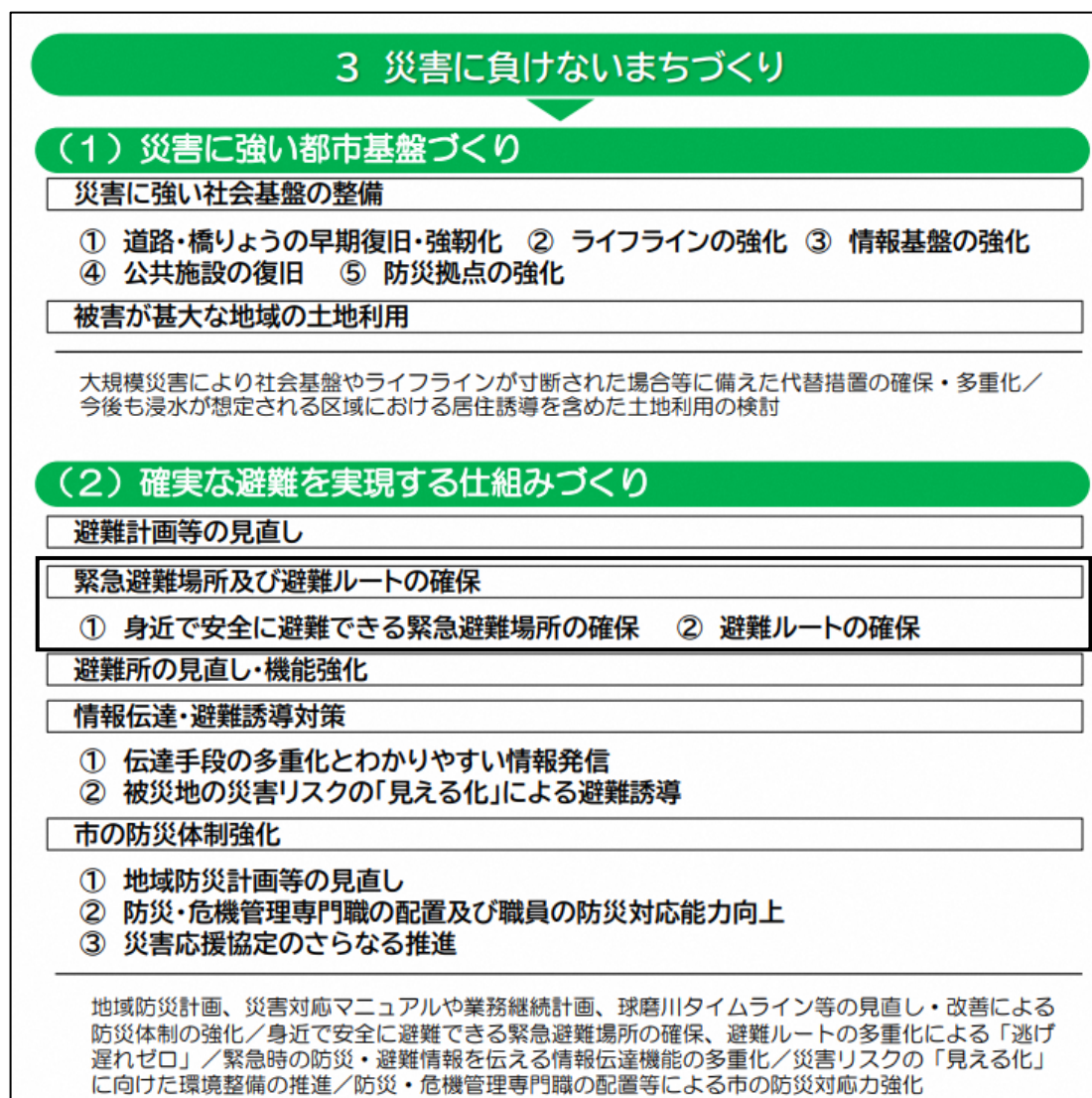
2 計画策定の趣旨

「人吉市復興計画」では、復興の将来像として「～希望ある復興を目指して～ 球磨川と共に創る みんなが安心して住み続けられるまち」を掲げ、復興施策の3つの柱として「①被災者のくらしの再建とコミュニティの再生」、「②力強い地域経済の再生」、「③災害に負けないまちづくり」を軸に、復旧・復興関連の取り組みを推進しています。

このうち、「③災害に負けないまちづくり」の施策である「確実な避難を実現する仕組みづくり」に基づき、避難路整備事業を進めています。

早く確実に避難するための道路整備は復興事業の重要課題であり、「災害に負けないまちづくり」を推進していくため、早急な整備が必要です。

災害時における安全に移動するための避難路となるだけでなく、平常時には子どもの安全な通学路として、住民生活の基盤である快適で安全な生活道路として、フェーズフリーの考え方を取り入れ、災害時の防災対策と平常時の道路交通の安全対策を合わせて整備を推進します。



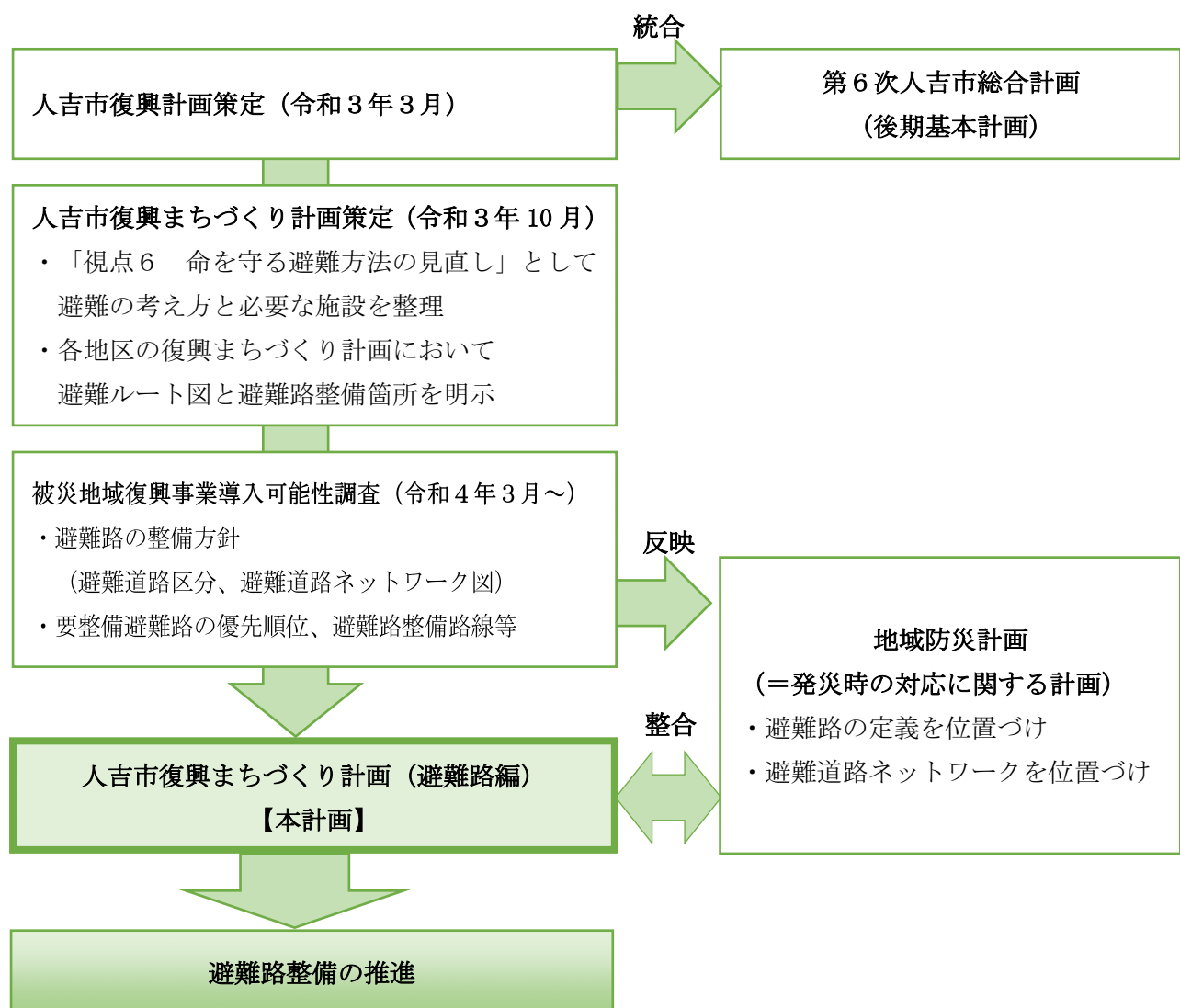
※出典：「人吉市復興計画（第1期）」（令和3年3月）

3 計画の位置付け、見直しについて

本計画は、人吉市復興計画及び人吉市復興まちづくり計画に基づき、避難路整備の考え方や方針について、人吉市復興まちづくり計画の別冊「避難路編」として取りまとめるものです。

避難路整備の考え方や方針、具体的な避難路の整備路線については、令和4年3月から実施した「被災地域復興事業導入可能性調査」を基に、その検討結果を反映した地域防災計画とも整合を図りながら取りまとめます。

本計画は、これらの上位・関連計画の更新のタイミングや避難路整備の進捗を踏まえて、適宜、見直しや改定を行います。



【避難路に関する検討の経緯と本計画の位置付け】